

行政視察報告書

令和7年10月6日

委員会名		議会広報広聴常任委員会
参加者	委員長	栗 畑 寿一朗
	副委員長	大 川 晋 作
	委 員	城 戸 佐和子 中 野 正 幸 池 田 彩 乃 大 川 裕
期 間		令和7年7月24日（木）～25日（金）
視察地、 調査項目 及び概要	富山県 射水市	1 議会報告・意見交換会及びYouTubeを使用した議会報告会について (1) 本市の現状と課題 本市議会の広聴活動としては、ここ数年は、議会報告会の一つの形として小中学生を対象とした議場見学会を開催している。その参加校は、年を追うごとに増えてきており、参加児童からの感想も満足度が高いものとなっている。今後は、より効果的な取組方法や、より幅広い世代に対しての広聴活動を見据え、検討しているところである。 (2) 調査目的 本市が現在実施していない、常任委員会ごとに分かれての開催、対象を高校生をとしたものや、YouTube配信による方法など、さらに幅広い世代に対しての事業を行っている先進市の事例を視察し、事業の運用までの経緯、取組状況、周知方法、効果、課題等について調査することを目的とする。 (3) 調査概要 射水市議会では、平成29年9月に制定された射水市議会基本条例に基づき、議会報告会を実施していることが説明され、その目的として①市民に対して議会で行われた議案等の審議経過および結果を報告すること、②政策形成に関する意見交換の場を設けることの2点が挙げられた。 議会報告会における課題として、①議員間での理解や参加意欲の差、②市民参加者の募集の難しさ、③女性議員の不在による女性視点の欠如が挙げられた。特に、参加者については、特定の要望を持った市民が多く、その結果、どうしても本来の目的である議会活動の報告や意見交換から、議会報告会が乖離してしまう状況が続いたことが説明された。 このような状況を踏まえ、第3回議会報告会（令和2年）から、常任委員会ごとに分かれて複数会場で同時開催する形式に変更し、さらに、第5回議会報告会（令和5年）から、一部の常任委員会では、高校2年生を対象に開催し、さらに、第6回議会報告会（令和6年）から、一部の常任委員会では、YouTube配信方式を取り入れた。 その結果、高校生からは、今までの議会報告会では見られなかった、「通学路の除雪」、「バスの運行時間」、「外国人との交流」などといった、具体的かつ建設的な意見が出されるようになったと効果が説明された。YouTube配信方式については、長めの動画より、短めの動画の方が視聴者には好評であることや、配信の告知の度合いにより、視聴回

		数に差が出るということが説明された。また、動画編集ができる議員が限られているという問題点が挙げられた。 2 考察 射水市議会では、より効果的な議会報告会を開催するために、開催方法や対象者をその都度協議・検討の上、市民との意見交換に取り組んでいる。議会報告会における参加者の少なさや固定化による本来の目的とはかけ離れてしまうことなどの課題を契機とした、常任委員会ごとの分散同時開催や、高校生といった若い世代との意見交換の機会創出、YouTubeのような新しいツールを用いた方法など、これまでの広聴活動の在り方に対し、様々な視点からのよりよい議会報告会を開催するべく、事業を展開し続けていることについて具体的に調査できたことは、今後の本市議会における広聴活動の検討に向け参考となるものであった。
視察地、調査項目及び概要	富山県黒部市	1 議会報告・意見交換会及び映像配信の現状と今後について (1) 本市の現状と課題 前述のとおり、本市議会の広聴活動としては、小中学生を対象とした議場見学会の実施が中心となっている。今後は、より効果的な取組方法や、より幅広い世代に対しての広聴活動を見据え、検討しているところである。 (2) 調査目的 本市が現在実施していない、高校生を対象とした議会報告会を開催しているので、幅広い世代に対しての事業を行っている先進市の事例を視察し、事業の運用までの経緯、取組状況、周知方法、効果、課題等について調査することを目的とする。 (3) 調査概要 黒部市議会では、令和5年度までは、一般の市民を対象とした議会報告会を実施していた。しかし、①参加者を集めることが大変でいろいろな方に声をかけて参加していただいている状態であった、②参加される方は、毎回同じような方であった、③必ずしも悪いわけではないが、年齢が高い方の参加が多かった、この3点の課題があり、令和5年12月に前議長が就任した際、若年層の意見を取り入れたい旨、所信表明の場で発言されたことにより、当時の議長・副議長が、地元の唯一の高校である桜井高校を訪問し、その結果、令和6年度から桜井高校2年生を対象とした意見交換会を実施することになり、令和6年7月17日に、第1回目が開催された。グループディスカッション形式で実施され、テーマは、「黒部市にあったらいいモノ」と「あおーよ(図書館複合施設)を利用して感じること」の2つであった。 効果としては、従来は、道路整備などといった現実的なハード面の要望が意見として多かったが、「遊園地やショッピングモールが欲しい」など、夢があるまちづくりの話ができ、「あおーよ」内にパンの自動販売機設置が実現するなど、どちらかというとソフト面の夢のあるまちづくりの意見が多くなったことと、ディスカッション形式のため、全員が話すことができ活発な意見交換をできることが挙げられた。高校生からは、「もう一度開催してほしい」という意見がある一方、「誰でも参加できないのか」という意見も1件あったと説明があった。 2 映像の配信の取り扱い及び現状と今後について (1) 本市の現状と課題 市議会本会議や委員会のYouTube等の映像を一部切り取って、SNS上に配信していることが見受けられるが、このような場合において、

		議会の性質上、その発言の主旨がきちんと伝わらないケースも生じるのではないかという懸念がある。 (2) 調査目的 議会配信（インターネットライブ中継）の注意（免責）事項が、詳細に記載されていることや、インターネットライブ中継を中止していることから、なぜ、そのような取扱いをしているのか、経緯や発端となった事案について調査をすることを目的とする。 (3) 調査概要 黒部市議会では、議会の動画配信について、ケーブルテレビ経由によるものと、議場の変換機中継機を使ったインターネットからのYouTubeによるものを行っているが、今年3月に変換機中継機に故障が発生しているため、現在、YouTubeによる動画配信を中止しているという理由であった。再開を要望する声は、議員、議会局双方に届いてはいないと説明があった。YouTubeの視聴者が少数であることから、予算を投じて復旧する必要があるのかという意見と、1人でも視聴している人がいるのであれば、修理して再開するべきだという意見があるが、後者の意見で検討が進むのではないかという見解が示された。 このように、過去に何かインターネット中継でトラブルがあったために中止しているわけではなく、機械の故障により、やむを得ず中止している状況であるということが判明した。 3 考察 黒部市議会では、より幅広い世代から、いろいろな意見を聴くために、開催方法や対象者をその都度協議・検討の上、市民からの効果的な広聴活動に取り組んでいる。いわゆる従来型の議会報告会では、少ない参加者数、参加者や出される意見の固定化といった課題があり、これは、本市だけの課題ではなく、各地でも同様の問題が発生していることが判明し、今後の本市議会における広聴活動の検討に向け参考となるものであった。 また、議会の動画配信の中止については、SNS等によるトラブルを起因とした理由ではなく、機械の故障によるものであり、修理に向け検討が進む見込みのようで、やはり、「開かれた議会」の重要なツールとして、インターネットは欠かせないものであると考えられる。今後も、適切な利用を心掛け、「開かれた議会」を推進していく必要性を感じた。
--	--	--